

1 事業テーマ	木育推進拠点『(仮称)富士山木のおもちゃ美術館』整備・運営に係る官民連携事業
2 事業分野 (1つ)	まちづくり
3 提案理由 (テーマ設定の背景)	市では令和5年6月に「御殿場市木育推進基本構想」を策定。SDGs未来都市・御殿場市が持続可能な地域社会を構築するうえで重要な取組として官民が連携した『木育』の推進が求められる。 木育の意義を市民に周知し、木育体験機会を創出するするとともに、木育推進の拠点施設として整備する「(仮称)富士山木のおもちゃ美術館」の魅力を広く伝えることで、同施設の開館に向けた木育推進の機運醸成と、多様な人材・関係人口が集う効果的な施設運営や活用を図るため、官民連携した取り組みとして、市民団体と協働して取り組むこととした。
4 現状と課題 (これまでの市の取り組み・成果)	御殿場市は令和4年度に内閣府からSDGs未来都市に選定され、環境・経済・社会の3側面から統合的に持続可能で御殿場らしい人づくり・まちづくりを進めている。 官民連携した「木育」の推進は、御殿場市SDGs未来都市計画の中でも重要な取り組みとして位置づけており、令和5年度には御殿場市木育推進基本構想を策定し、その一環で木育推進活動の拠点となる「(仮称)富士山木のおもちゃ美術館」を富士山樹空の森敷地内に整備をすすめ、令和8年度の開館を予定している。 これまでも、御殿場の豊かな自然環境を活かし、様々な分野で、各地域や団体・企業が木育につながる幅広い活動を進めてきた状況があり、そうした機会をさらに発展・活発化させ、官民連携して木育を活かした御殿場らしい人づくりまちづくりに繋げることが求められる。 今回、木育活動拠点となる「(仮称)富士山木のおもちゃ美術館」を整備するにあたり、利活用する市民への効果的な情報発信による認知拡大と、幅広い世代の木育体験推機会の創出、多様な人材が集う効果的な施設運営や活用につなげることが課題として挙げられる。

5 想定する提案の例 (事業イメージ、役割分担)	① 木育推進や木のおもちゃ美術館の広報・周知活動 ② 木のおもちゃ美術館の見学ツアー(市民公募) ③ 木育体験機会づくり ④ 木のおもちゃ美術館運営に向けた人材育成支援 【行政の役割】 年間事業計画の検討協議、募集等広報の支援、 市事業との連携・調整、施設や他団体との連絡調整、作成物の支援等 【市民団体の役割】 イベント出展時の周知活動、見学ツアー、講演会等の企画運営、 木育体験機会の企画運営等
6 期待する事業効果 (協働事業で目指すこと)	・木育推進拠点「(仮称)富士山木のおもちゃ美術館」の認知向上 ・施設運営スタッフやおもちゃ学芸員(ボランティア)への興味関心の拡大 ・木育を通じたSDGsの推進と関係人口の創出 ・地場産材(ごてんぱっ木)の認知拡大や地産地消の推進 ⇒木のおもちゃ美術館の主な利用者となる親子世代だけでなく、中高生・ 20代の若者やシニア世代等の幅広い層の市民に、木育の魅力や必要 性の認知を高め、官民連携した木育推進機運の向上が期待される。
7 提供できるメリット	募集等広報の支援、市事業との連携・調整、施設や他団体との連絡調整、 作成物の支援等
8 その他留意事項 (団体に求めること、 提案にあたっての注意点)	参考:御殿場市木育推進基本構想 ■基本理念 ～御殿場の木のぬくもりと共に～ ■基本方針 1.森林や里山も守る(森林や里山の保全) 2.森林資源を有効に活用する(ごてんぱっ木の活用) 3.木に触れ、木に学ぶ(木を通じた多世代交流) 4.様々な主体が協働して「木育」に取り組む(協働による取組) 5.カーボンニュートラル実現に貢献する(脱炭素社会へ向けて)
9 担当課 (問い合わせ先)	企画戦略部 未来プロジェクト課 プロジェクト推進スタッフ M a i l mirai@city.gotemba.lg.jp T E L 0550-82-4349